

かねさわ

金沢学区コミュニティ推進会

第144号

令和2年3月20日

企画・編集：広報部 発行責任者：泉 聡二
事務局：Tel(36)3985 Fax(36)2677
メールアドレス：c-kanesa@net1.jway.ne.jp
ホームページ：http://www.net1.jway.ne.jp/c-kanesa

みんなで遊ぼう会

昔のお正月を体験して伝統文化を学ぶ

1月26日(日)、「みんなで遊ぼう会」を、金沢女性会と子ども会育成連合会のもと、金沢交流センターで実施しました。小学生以下の子供29人・大人37人の総勢66人の例年同様の人数が参加しました。

室外では、餅つき・竹馬・羽根つきを、室内では、まゆ玉づくり・囲碁・将棋・ひたち郷土カルタを楽しみました。竹馬は大人に教えてもらいながら何度も挑戦し、ついには一人で乗れるようになりました。餅つきでは杵の重さに驚きながらも、楽しそうに

ついていました。色をつけた餅でまゆ玉をつくり、木の枝にたくさんつけ、芸術的なまゆ玉かざりができました。室内のそれぞれのゲームでは、手に汗にぎる熱戦が繰り広げられていました。

昼食に、お雑煮ときな粉餅をいただき、ビンゴゲームに盛り上がりました。

半日足らずの時間ですが、楽しいひとときを過ごすことができました。 (レクリエーション部)



重い杵を持ち上げて!



きれいな「まゆ玉かざり」ができました



女子も並んでつきました



難しかった「竹馬乗り」



みんなで郷土カルタ遊び



お餅をいっぱい食べました

18のグループが日頃の練習成果を披露

第12回住民芸能祭

第12回住民芸能祭が2月23日(日)、金沢交流センターで開催されました。

好天に恵まれ、文化部の役員と各部の皆様のご協力のもと、出演者皆様の日頃の練習成果をご披露頂きました。

今回は新メンバー5つを含め15グループと個人3人が参加しました。

金沢幼稚園のかわいい園児たちの、元気いっぱいの演技に保護者や、お客様から惜しみない拍手がありました。

個人参加のピアノ、トランペット、尺八演奏と、



たくさんのお客様が来場しました

第12回
住民芸能祭

令和：2年2月23日(日)
時間：9時～14時
場所：金沢交流センター
主催：金沢学区コミュニティ推進会

台原中美術部
制作ポスター

グループ参加の日舞、剣詩舞、金沢音楽集団、ウクレレ、詩吟朗詠、大正琴とキーボード、二胡、オカリナ、ハーモニカ、フルート、コーラス・合唱の素晴らしい歌声、元気いっぱいのダンス(好きになった人)など、共に歌い、感動と笑いあいの楽しい芸能祭を開催することができました。(文化部)



ファニーサウンズの「大正琴とキーボード」



オカリナハートの「オカリナ演奏」



金沢幼稚園児の「歌・リズム」



二胡クラブの「二胡演奏」



あんさんぶる金沢の「コーラス」



舞踊集団・藍の「日舞」



菜の花の会の「合唱」



八洲流吟詠会の「吟詠」



金沢音楽集団の「楽器演奏」



ウクレレフレンズの「ウクレレ演奏」



宇留野 昌義さんの「ピアノ演奏」

佐藤 寛伸さんの「尺八演奏」

中村 雅一さんの「トランペット演奏」



アンサンブルレインボーの「ハーモニカ演奏」



ソナタ会の「フルート演奏」



水府新刀流英光神武館の「剣詩舞」



さくらフレンズの「ダンス」



ハーモニカ&ソサエティの「ハーモニカ演奏」

令和2年新春賀詞交歓会

令和2年新春賀詞交歓会が、1月11日(土)に金沢学区コミュニティ推進会、金沢交流センター運営委員会及び利用団体の会員が参加し、金沢交流センターで開催されました＝写真。

賀詞交歓の後、主催者を代表して泉会長が「『自分の地域は自分の創意と工夫で作るあげる』という基本理念に立ち、住民全員が当事者という意識の共有を図りながら、互いに支え合う“共助の再構築”、すなわち『コミュニティ活動を中心とした支え合いのまち ひたち』を目指して、日々活動に取り組んでまいります」と挨拶しました。続いて来賓を代表して台原中学校今橋校長、金沢小学校横倉校長、金沢幼稚園田切園長、金沢学区コ

ミュニティ推進会鴨志田顧問よりご祝辞をいただきました。

参加者全員で懇親を深めるとともに、新しい年の始まりを祝いました。



台原中1年生とのふれあい交流会 地域の皆さんと楽しくふれあう

12月4日(水)、冬には珍しく暖かくなった日に、柔剣道場に集合し、生徒主導で始まりました。

交流レクリエーションでは、卓球・バドミントン・ソフトバレーボール・郷土カルタ・輪投げを行いました。自分の体力に合わせて参加種目を選んだつもりでしたが、やはり体力差を痛感しました。

給食交流では、成長した近所の子供達と給食をしながら、情報交換をしました。素直でやさしい、思いやりのある生徒達でとてもうれしくなりました。みなさんありがとうございました。

(ボランティアふれあい活動グループ)



ふれあい生きいきサロン 新春ゲーム大会を楽しむ！

今年初めてのサロンは、1月13日(月)、総勢57名参加のもと、「新春ゲーム大会」でスタートしました。

最初は「億万長者バトル」で、今年の金運を占うとあって、ジャンケンおよびすごろくゲームで、一獲千金を狙い、熱のこもったバトルとなりました。

その後のお茶タイムでは抹茶と桜菓子を頂き鋭気を養いました。

次の「ピンポンころころ」ゲームは、卓球台の先端の点数缶目がけてピンポン玉を転がすも、軽い球は微妙に変化して、思い通り点数缶に入らず悪戦苦闘でした。

ゲーム終了後、全員におみやげが渡され、協力部員さんの心のこもった手作りお正月料理を美味しく頂いて散会しました。

(あんしん安全ネットワークグループ)



すごろくゲーム

金沢学区自警団 合同交流会で情報・意見交換

12月14日(土)、金沢交流センターにおいて金沢小学校校長先生とP T A役員を招き、総勢52名で恒例の金沢学区5自警団(金沢団地、台原団地、根道ヶ丘団地、金沢南、大沼)の合同交流会を開催しました=写真。

当会会長、金沢小学校横倉校長及びP T A代表の挨拶を頂き、続いて金沢学区自警団の活動状況報告、各自警団リーダーによる現状報告がありました。その後、参加者全員での合同写真を撮り、恒例の懇親会では金沢女性会有志の皆さんの美味しい手作り料理を頂きながら、関係各位団員同士の情報交換等、親睦を深め楽しいひとときを過ごしました。最後に参加者の健康と自警団の発展継続を祈念して散会となりました。

各自警団も高齢化と団員不足に陥っています。地域の皆さんの参加協力をお願い致します。

(金沢学区自警団)



短歌

かねさわ 文芸

- ・ 大志抱き未来に向かう制服の
高校生の銀輪まぶし
- ・ 甘みなきコーヒー苦くやるせなし
温暖化とふニユース聞きつつ
- ・ つながれし陶器の犬はさみしげに
のっそり歩く猫を見ている
- ・ 青信号二つ三つと見送りて
チューリップ咲く庭を覗きぬ
金沢団地支部 関本幸子
- ・ 銀幕にあふれる魅力へプバーン
コミセンで観た映画「シャレード」
芸能祭ウクレレリズム軽やかに
ホールはひとときハワイとなりぬ
「ふるさとは今も変わらず」復興ソング
十一人のハーモニ―流る
金沢団地支部 湯佐けい子
- 俳句
 - ・ 春の潮まだ荒れ残る深き藍
 - ・ 雛菓子のさらに彩良く灯さるる
台原団地支部 竹田都
 - ・ 春一番サッカーボール受けとむる
春光やべっこう飴をかざしみる
根道ヶ丘団地支部 古川ヨシエ
 - ・ 菜の花を添えて友待つ胸弾む
雨上がり振り返り見る春の虹
根道ヶ丘団地支部 跡部ふみえ

金沢・大沼地方のふるさと発掘

シリーズ8 覚念寺を訪ねて

日立市では、毎年秋になると日立市コミュニティ推進協議会主催による「ふるさと再発見ウォーク」が実施されてきた。ここ金沢学区でも3年前まで実施されてきたが、その最初に訪ねる場所は、再発見ウォーク始まって以来覚念寺・聖徳太子堂である。

そこでは、佐々木住職さんに、覚念寺の沿革や親鸞聖人の教義についてお話を聞いてきた。ここでは改めて覚念寺について触れてみたい。

覚念寺(畠谷山清岸院覚念寺)は、親鸞の開祖浄土真宗の寺院で、関東24輩第23番の由緒ある寺である。親鸞は、鎌倉時代初期の僧で一時、念仏弾圧により越後に流されたが後、許され晩年に帰京するまで常陸の国稲田(現笠間市稲田)に草庵を結び、ここを中心に布教活動した。現在この場所には、浄土真宗の別格本山として「西念寺」があり浄土真宗門徒の崇敬を集めている。

覚念寺は、この親鸞聖人の直弟唯信坊(24輩の一人)の開基によるものである。唯信坊は、俗姓佐々木左衛門尉高重といい、法名を唯信と名乗った。唯信は、那賀郡小瀬の畠谷に一棟の堂を建て『覚念寺』と名付けた。その後1600年藩命により現所在地金沢に移転した。以来数度の火災に遭い、その度再興に努め現在に至っている。(参考文献:「真宗大谷派高田派覚念寺の沿革」より) (橘 松壽)



覚念寺

(橘 松壽さん(故人)には長い間執筆頂き、ありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします)

新春ゲーム 一年の健康を願い羽根っ子ゲーム

1月10日(金)、ふれあい健康クラブは、羽根っ子ゲームを楽しみました。体操の後、メンバーは紅白2チームに分かれてゲームへの期待が高まりました。床的的には干支の十二支が放射状に色分けし、枠外には干支に入れなかったネコとカエルが待っています。鶏の羽根つきの駒を投げて10点から30点の得点を競います。一勝一敗のあと決勝戦で同点引き分けとなり、仲良く万歳三唱しました。

お茶で喉を潤し、ピアノの伴奏で「一月一日」を歌い散会しました。(ふれあい健康づくりグループ)



楽しかった羽根っ子ゲーム

健康クラブ ハーモニカ演奏を楽しむ

1月24日(金)、楽団「ハーモニーフレンズ」の演奏に合わせて、元気よく大きな声で唄いました。

抒情歌・ナツメロ・童謡・演歌・人生の応援歌等々、昭和30年代に流行した歌声喫茶を思い出させ、まるで若い頃にタイムスリップしたような雰囲気酔いしれたひとときでした。

途中に、昔活躍した往年の歌手たちのモノクロ写真の歌手名当てクイズなど、バラエティにとんだ盛りたくさんの内容で、時間の経つのも忘れてしまいました。

(ふれあい健康づくりグループ)



抒情歌などいっぱい唄いました



アンコールもありました